

だい し お い り
大 す き 汐 入がつ ごと
2月号あいていしき たいせつ
相手意識を大切にこうちょう おぐる ゆうこ
校長 小黒 裕子

「この白いものは何ですか。」登校時、多くの子もたちが校門から昇降口にかけて撒かれていた白い粒を踏みながら、私にそう尋ねてきました。学校では強烈な寒波がやってくるということで、降雪と路面凍結を警戒し、前日に塩化カルシウムを撒いたのです。見慣れないものに興味津々の様子でした。今週火曜日の晩の雪は舞う程度でしたし、翌朝の路面は凍結しなかったので、白い粒は活躍しませんでした。ですが汐入小学校の池にはうっすら氷が張っていました。氷点下の気温に慣れていない横浜に住む私たちにはこの冷え込みはきつかったです。

その日の学校での朝の活動は「朝スポーツ」。今月からは短縄跳びで、寒くても子どもたちはぴょんぴょんと自分の目標を決めて跳んでいました。私も一緒に跳んでいます。みんなでジャンプすると体も心も温かくなるのがうれしいです。寒い冬も身体をたくさん動かし、風邪を予防していきたいと思います。

さて、同日に鶴見区小学校8校では一斉授業研究会があり、本校では学校図書館研究会の国語の授業公開がありました。2年1組も5年1組も日頃から読書に親しむ中での学習活動でした。2年生は教科書にある「わたしはおねえさん」を読み、感じたことをグループの友達と伝え合いました。心に残ったところが同じでも、どうしてそこを選んだかを話してみると似ているものも違うものもありました。感じ方はいろいろあるんだな、いろいろあっていいんだな、と学んでいたのです。5年生は事前にインタビューをした3年生の子に合った本を選び紹介するためのおすすめポイントをまとめ、グループの友達と共有していました。3年生の子のことを思い浮かべて、わかりやすく楽しんでもらえるように文章を考えていました。相手のことを理解し、想像し、伝える内容を工夫することを学んでいました。

このように、子どもたちは様々な場面で他者とかわり、学んでいます。授業の中だけではなく、生活全体で、相手のためになる行動をとることもあれば、逆に相手にむかっときてけんかやトラブルをおこすことを経験するかもしれません。学校では、紹介した授業のように努めて豊かなかわり合いの場をつくり、相手のことを理解したり、相手に対応したりするといった「相手意識」をもち、より良い人間関係をつくれるようにしていきたいと考えています。

2月には保護者に見ていただける大きな行事として学習発表会があります。お子様一人につき保護者1名の参観となります。また、3月の卒業証書授与式については、保護者各家庭2名、来賓として学校運営協議会の委員、在校生代表として4・5年生の参列の予定で計画をしております。

新型コロナウイルス感染症の扱いが5月には変更となることに伴い、今後学校での教育活動の内容やマスクの着脱等に変更する点も出る可能性もありますが、その際は早めにお知らせしてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。